

東海道関宿案内アプリ

江戸時代、東海道53次の47番目の宿場町として、参勤交代や伊勢参りの人々などで賑わいました。

現在、旧東海道の宿場町のほとんどが旧態をとどめない中であって、唯一歴史的な街並みが残り、昭和59年国の伝統的建造物群保存地区に選定されました。

関宿は東西追分の間1.8Km、江戸時代から明治時代に建てられた古い町屋200軒あまりが残っています。

関は古代から交通の要衝であり、古代三関のひとつ「鈴鹿関」が置かれ、関の名はこの鈴鹿関に由来しています。鈴鹿関が初めて登場するのは、壬申の乱(672年)の際、大海人皇子が鈴鹿・不破の関を固めたことです。

関宿案内アプリは、下記のQRコードをダウンロードしてください。

